

監査の結果に 対する措置

平成28年度に実施した定期監査（その1）、随時監査の監査結果に基づき講じた措置について、茂原市長から通知がありました。内容は、次のとおりです。

【監査の種類】 定期監査

【措置年度】 平成29年度

総務課

【監査結果】

○社会保障・税番号（マイナンバー）制度については、本格的な情報の連携が始まることから、マイナンバー（個人番号）の情報搾取を目的としたサイバー攻撃や情報漏えいなどの備えに万全を期されたい。また、マイナンバーカードの交付が低調であることから、取得することの利点や利便性について周知を図られたい。

【措置内容】

○8月9日、10日に、近年のサイバー攻撃の紹介やパソコンをウイルス感染させるデモンストレーションを行った「情報セキュリティセミナー」を開催し、143名の職員が受講した。また、マイナンバー利用端末については、静脈認証機器を備えるなど情報管理の徹底を図った。マイナンバーカードの取得向上については、コンビニ交付（住民票、印鑑証明、戸籍証明）の実施を検討している。

【監査結果】

○自主防災組織については、各組織の活性化に努めるとともに、災害時に支障をきたすことのないよう地域の実情に応じた防災資機材の点検、整備をされたい。また、災害時の避難所運営は困難を極めるため、スムーズな運営が図られるよう、避難所運営マニュアルの整備とともに訓練の実施に努められたい。

【措置内容】

○自主防災組織設立時の防災

資機材及びその後自主防災組織が購入した資機材及び備蓄品について点検を実施し、組織役員の変更届と共に提出させている。今後

も継続して提出させることで、資機材等の管理を意識付ける。また、平成28年12月に避難所運営マニュアルを策定し、避難所施設管理者及び直近動員職員等に説明を行った。なお、茂原市地域防災訓練においても、避難所運営マニュアルに基づき訓練を実施している。

秘書広報課

【監査結果】

○広報発行业務については、広報媒体の工夫、取組みに努めているところであるが、事務事業の趣旨を市民に周知するため、広報効果の把握、フォローについて検証をされたい。

【措置内容】

○平成29年8月に広報アンケートを実施し、広報紙の入手方法や興味のある記事・話題など市民から広く広報に関する意見をいただいた。この結果を今後の紙

面構成や広報発行业務に生かしてまいりたい。

職員課

【監査結果】

○市民サービス向上のためには、職員の健康管理は重要であることから、健康診断の受診等、積極的に働きかけるとともに、労働安全衛生法の改正によるストレスチェックの義務化に伴い全職員を対象に実施することにより、就業上の改善につなげられたい。

【措置内容】

○職員健康診断については、平成28年度から35歳以上の職員に、特定健康診断を含む健康診断を実施した。その結果、人間ドック受診者を除いた健康診断受診率は63・57%であり、前年度の同受診率62・53%を上回った。本年度は全職員に対して特定健康診断を含む全項目の健康診断を実施することで、職員の健康管理の充実を図り、市民サービス向上に努める。

○ストレスチェックについては、国が定める57項目につ

いての調査票を用い、全職員を対象としてストレスチェックを実施した。その結果から、高ストレス者と判定された者のうち希望者に対し、保健師面接及び産業医面接を実施することで、メンタルヘルス不調の未然防止に努めた。

【監査の種類】 随時監査

【措置年度】 平成29年度

総務課

【監査結果】

○所在が不明なものやその多くを廃棄している備品があった。物品は、税金で購入した茂原市の貴重な財産であり、たとえ少額なものでも紛失、私物化など不正な行為や無駄な使用があつてはならないと意識をもって使用、管理にあたり、安易に廃棄することのないよう、再調達価格や再利用などを十分考慮した適正な方法で処理し管理運用されたい。

【措置内容】

○備品の使用、管理に当たっ